

平成29年度 I 在宅生活志向をもつ看護師育成コース

【目的】 病院勤務看護師が在宅生活志向を高める。

- 【目標】 1. 入院患者の退院後の生活を意識することができる。
2. 退院に向けて、入院時より必要な情報を収集することができる。
3. 入院患者が在宅療養へ移行するために、病院看護師として、多職種での連携の必要性を理解することができる。

《基礎コース 1年目》 集合研修とHOCノートによる個人課題で行われる

【研修科目】	個人課題①：このコースへの思い
【ねらい】	受講動機を各受講生が意識する。
【課題】	*HOCノート(P.1) なぜ参加しようと思ったのか？ このコースを受けてどんな看護師になりたいか？未来の私とは？ 提出期限：平成29年6月2日（金）

【研修科目】	第1回集合研修：在宅生活志向はなぜ必要か？
【ねらい】	新人看護師が、在宅志向の必要性を知ることができる。
【内容】	*日程 平成29年6月20日（火） 13時～16時 *場所 鳥取大学医学部 記念講堂 *講義 施設内看護での在宅生活志向看護の重要性 *講師 鳥取大学医学部附属病院 看護師長 金坂 尚子 氏 *グループ討議〈テーマ〉在宅生活志向とは *HOCノート(P.2、3) 集合研修を終えて、講義内容・感想をまとめる。

【研修科目】	個人課題②：今年度の私の目標
【ねらい】	受講動機を各受講生が明確にする。
【課題】	*HOCノート(P.4) 今年度コースを受講するうえで各自の「今年度の目標」を決める。 提出期限：平成29年7月7日（金）

【研修科目】	第3回T-HOCひのセミナー
【ねらい】	山間地の環境の中で、訪問看護実践者による講義を受け、病院看護師が、地域の生活を支援する看護の視点を明確にできる。
【内容】	*日程 平成29年9月8日（金） 13時00分～16時30分 *場所 日野文化センター *特別講義 （案）「雲南市における訪問看護による地方創生『コミケア』」 （案）「心の笑顔～心から笑顔になっていますか」 *講師 訪問看護ステーションコミケア 所長代行 安達 弓恵 日野町瑠璃光山泉龍寺 住職 三島 道秀

【研修科目】	第5回T-HOC特別セミナー
【内容】	*日程 平成29年10月下旬（予定） *特別講義（講師：未定） 3ページ

【研修科目】	個人課題③：自分の病院の退院支援について知る
【ねらい】	所属施設の退院システムについて知る
【課題】	<p>*HOCノート(P.6、7) 自分の病院にある退院支援に関わる部署 退院支援内容 自分の病棟と担当部署との連携について、図示もしくは例を用いて説明する。</p> <p>提出期限：平成29年10月31日(火)</p>

【研修科目】	第2回集合研修：退院支援システム
【ねらい】	他の受講生が所属する病院の退院支援システムの情報共有をする。 退院支援について考える。
【内容】	<p>*日程 平成29年12月14日(木) 10時～12時(予定)</p> <p>*場所 鳥取大学医学部 記念講堂(予定)</p> <p>*発表 退院支援について(グループ演習)</p> <p>*助言者(未定：受講生の所属する病院の地域連携担当)</p> <p>*HOCノート(P.8) 集合研修終了後記入すること。 中間評価(P.30)も記入。</p>

【研修科目】	個人課題④：私が行った退院支援
【ねらい】	実際に自分が行った退院支援について、振り返りを行う。
【課題】	<p>*HOCノート(P.10、11) 受け持ち患者に実践した退院支援を1事例とりあげる。</p> <p>提出期限：平成30年1月12日(金)</p>

【研修科目】	第3回集合研修：退院支援に必要な視点
【ねらい】	実際に訪問看護師として活動している新人看護師の報告より、退院支援に必要な視点を理解できる。
【内容】	<p>*日程 平成30年2月2日(金) 13時30分～17時00分</p> <p>*場所 鳥取大学医学部附属病院 第二中央診療棟 2階 会議室2</p> <p>*講義 訪問看護師として求める退院支援の視点(事例検討を含む)</p> <p>*講師 全国新卒新人訪問看護師の会長 小瀬 文彰氏</p> <p>*グループ討議(テーマ) 退院検討時にどのような行動・情報をとるか</p> <p>*HOCノート(P.12、13) 集合研修終了後記入すること。 *1年目の評価(P.30)記入。</p>

【研修科目】	個人課題⑤：2年目の私の目標
【ねらい】	自己評価をして、2年目に向けての目標を明確にする。
	<p>*HOCノート(P.14) 2年目の私の目標・目標を達成するための具体的な行動目標</p> <p>提出期限：平成30年2月23日(金)</p>

【研修科目】	第6回T-HOC特別セミナー
【内容】	<p>*日程 平成30年3月上旬(予定)</p> <p>*特別講義(講師：未定)</p>

《基礎コース 2年目》 集合研修とHOCノートによる個人課題で行われる

【研修科目】	第4回集合研修：退院後の生活と地域資源について
【ねらい】	在宅生活志向に必要な知識の確認ができる。
【内 容】	<p>*日程 平成30年5月中旬（予定）</p> <p>*講義 退院後の生活を見据えた看護活動/在宅療養に必要な資源 医療保険・介護保険の仕組み (講師：主任介護専門員未定)</p> <p>*グループ討議〈テーマ〉在宅生活を行うための地域の資源について</p> <p>*HOCノート (P. 16、17) 研修終了後記入すること</p>
【研修科目】	個人課題⑥：受け持ち患者への外来受診時インタビュー
【ねらい】	退院支援を行った受け持ち患者より、実際に退院してからの生活・受講生の退院支援の内容を再確認することができる。
【課 題】	<p>*HOCノート (P. 18、19) 受け持った患者の退院後の生活の様子を知る 1人目 提出期限：平成30年6月</p> <p>-----</p> <p>*HOCノート (P. 20、21) 受け持った患者の退院後の生活の様子を知る 2人目 提出期限：平成30年8月</p> <p>-----</p> <p>*HOCノート (P. 22、23) 受け持った患者の退院後の生活の様子を知る 3人目 提出期限：平成30年9月</p>
【研修科目】	第4回 T-HOCひのセミナー
【ねらい】	山間地の環境の中で、訪問看護実践者による講義を受け、病院看護師が、地域の生活を支援する看護の視点を明確にできる。
【内 容】	<p>*日程 平成30年9月（予定）</p> <p>*特別講義（講師：未定）</p>
【研修科目】	第7回T-HOC特別セミナー
【内 容】	<p>*日程 平成30年10月下旬（予定）</p> <p>*特別講義（講師：未定）</p>
【研修科目】	意見交換会（Ⅲ訪問看護能力強化コース 意見交換会と合同）
【ねらい】	受講生が、訪問看護ステーション実習を終えたⅢコース受講生と在宅生活志向を加味した看護について意見交換することにより、現在のそれぞれの実践できている点と課題となることを明確にすることができる。
【内 容】	<p>*日程 平成30年11月（予定）</p> <p>*グループ意見交換〈テーマ〉在宅生活志向をふまえて現在実践できていること・課題になっていること</p> <p>*HOCノート (P. 24、25) 研修終了後記入すること</p>

【研修科目】	第5回集合研修：在宅生活志向による看護の実践
【ねらい】	在宅志向を加味した自分の実践の振り返りを共有する。 地域包括ケアでの看護実践について理解する。
【内 容】	<ul style="list-style-type: none"> * 日程 平成30年12月上旬（予定） * 講義 在宅生活志向による看護の実践 * 講師 （未定） * グループ討議（テーマ）在宅生活志向看護を基盤とした看護の実践 * HOCノート（P.26、27）研修終了後記入すること * 2年目の評価（P.31）記入。
【研修科目】	個人課題⑦：このコースを通して
【ねらい】	在宅生活志向について看護実践できることについてまとめる。
【課 題】	<ul style="list-style-type: none"> * HOCノート（P.28、29）このコースを受けた感想・実践していること・今後の課題 今後の課題・2年間を通しての評価をしよう！ * 2年間を通じた評価（P.31）記入。 提出期限：平成31年1月下旬
【研修科目】	第8回T－HOC特別セミナー
【内 容】	<ul style="list-style-type: none"> * 日程 平成31年3月上旬（予定） * 特別講義（講師：未定）